

白井市第 5 次総合計画

前期基本計画（骨子案）

平成 2 7 年 6 月

白井市総務部企画政策課

1 まちづくりの重点戦略

戦略1 若い世代定住プロジェクト

戦略1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり

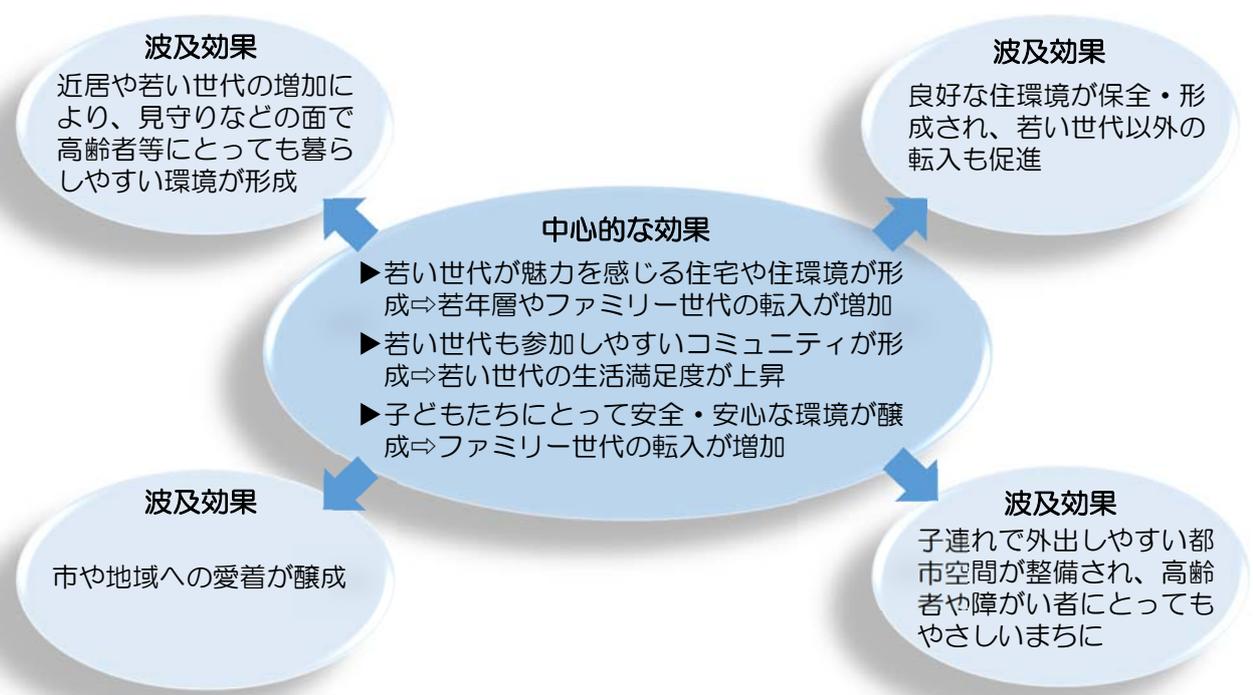
取組目標

- 緑や田園空間に包まれて、既成市街地や集落地などが立地するゆとりの環境を活かし、子どもや若い世代が白井らしい豊かな暮らしを享受できる環境を整えていきます。
- 緑の中にある文化資源を活かし、若い世代も含めて白井の魅力を感じる、ゆとりある良好な暮らしの実現を目指します。

目標実現に向けた取組み

- ▶ 1 若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境の促進
- ▶ 2 子ども連れで外出しやすい都市空間の形成や公園・広場の魅力向上
- ▶ 3 緑や文化資源などを活用した魅力ある暮らしの促進

期待される効果



戦略 1-2 働く場を生み出すまちづくり

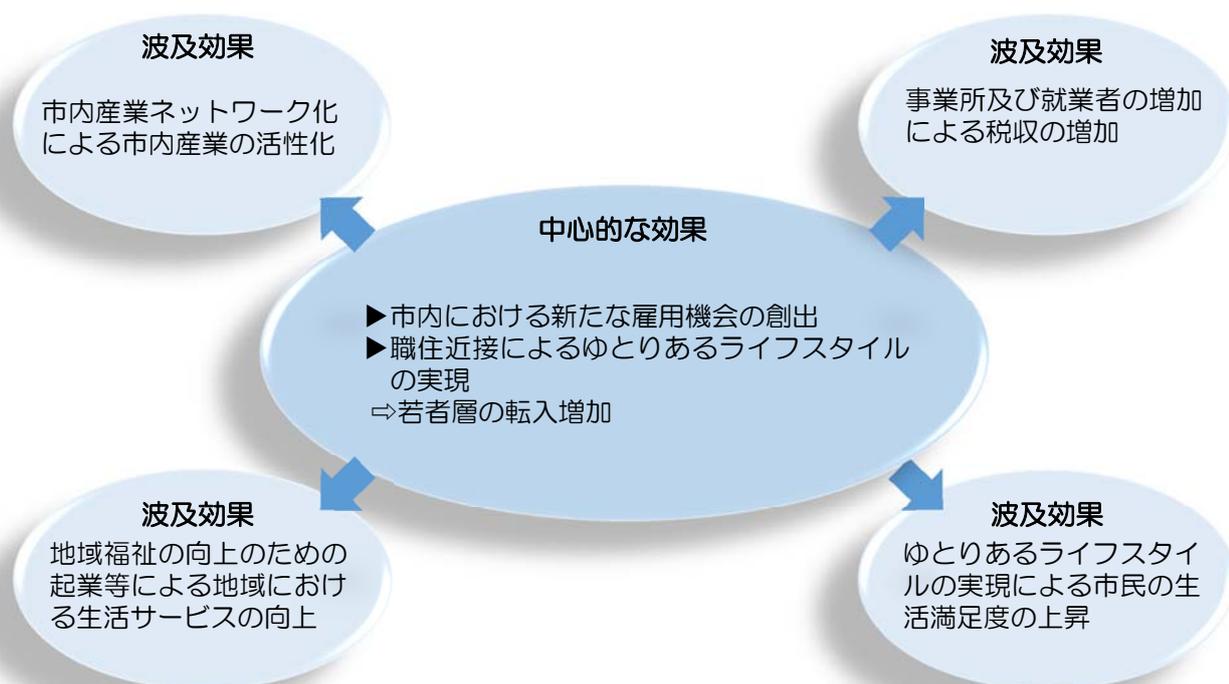
取組目標

- 農商工の連携や中小企業のネットワーク形成を通じて新たな仕事を生み出します。
- 未利用地や駅周辺、幹線道路沿道などを活かして、若い世代の雇用機会の創出を目指します。
- 地域を舞台として多様な世代が様々な活動を実践することで新たな事業を起こすなど、地域で働ける場をつくりまます。

目標実現に向けた取組み

- ▶ 1 工業団地などにおける市民の雇用拡大
- ▶ 2 異業種・異分野間のネットワークづくりによる交流・連携の支援
- ▶ 3 未利用地や幹線道路沿道等における新たな企業の誘致の促進
- ▶ 4 起業希望者に対する支援のしくみの構築や起業を意識した学習機会の提供

期待される効果



戦略1-3 子育てしたくなるまちづくり

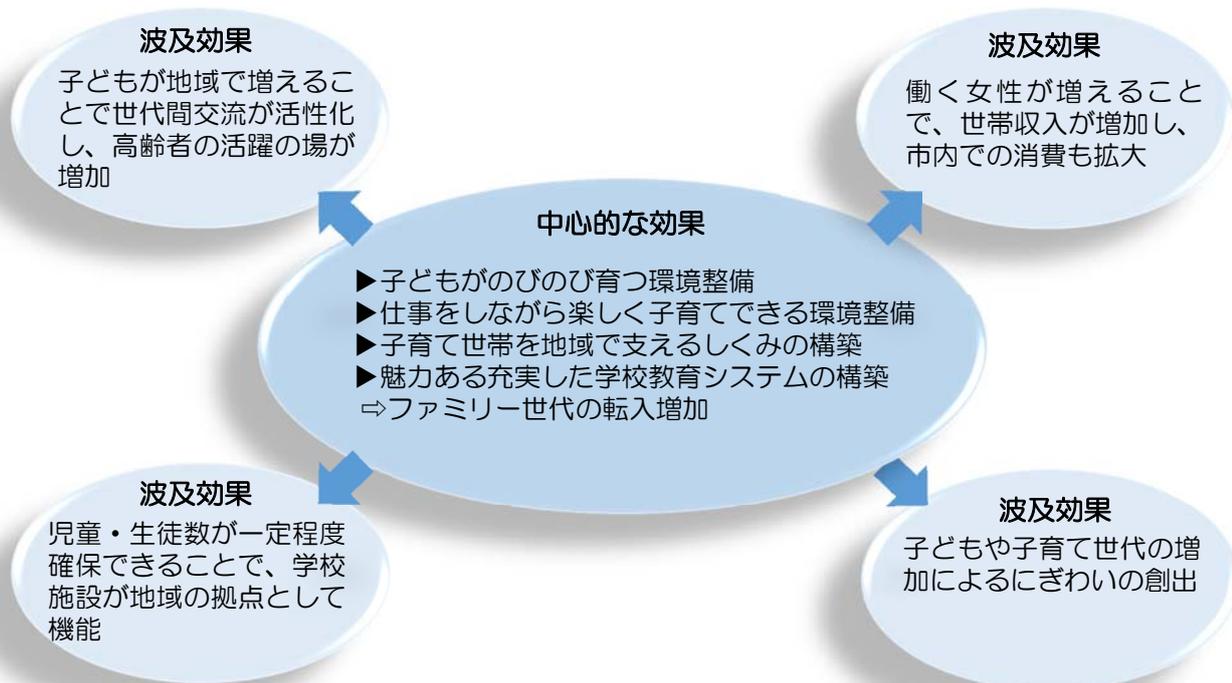
取組目標

- 子どもの状況に応じて様々な子育て支援サービスを提供することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを目指します。
- 子育て世帯を地域全体で支え、のびのびと楽しく子どもを育てられる環境づくりを進めます。
- 子ども一人一人とさらに向き合い、子どもに教育を受けさせるなら「白井」といわれるまちづくりを進めます。

目標実現に向けた取組み

- ▶1 駅周辺など利便性の高い場所での保育機会の確保
- ▶2 子育てに係る経済的負担の軽減
- ▶3 地域での親や子どもたちの居場所づくりや子育て支援のしくみづくり
- ▶4 児童・生徒の個性に応じた学力向上など生きる力を育む教育の推進

期待される効果



戦略2-1 「魅せる農」のまちづくり

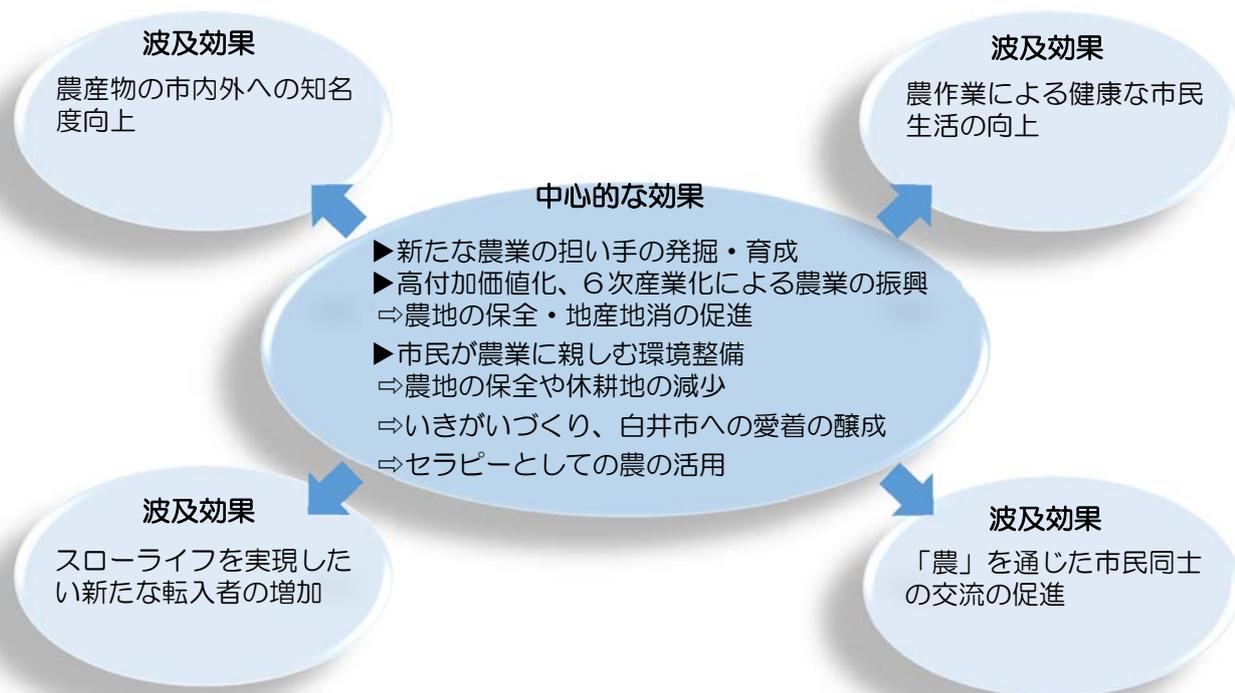
取組目標

- 農業をまちの活性化のための資源として積極的に支援し、産業が連携する活力あるまちづくりを進めます。
- 農の持つ多様な機能を活かし、まちのイメージを魅力的にアピールするため、子どもから高齢者までが農を体感できる取組みやにぎわいづくりを展開していきます。

目標実現に向けた取組み

- ▶ 1 多様な形態の農業経営と担い手の支援
- ▶ 2 農商工の連携による、農産物の高付加価値化やブランド化
- ▶ 3 駅周辺や地域における農産物の販売の場づくり
- ▶ 4 誰もが農業体験できるプログラムの実施や農に親しめる環境づくり

期待される効果



戦略2-2 みどりが価値を生み出すまちづくり

取組目標

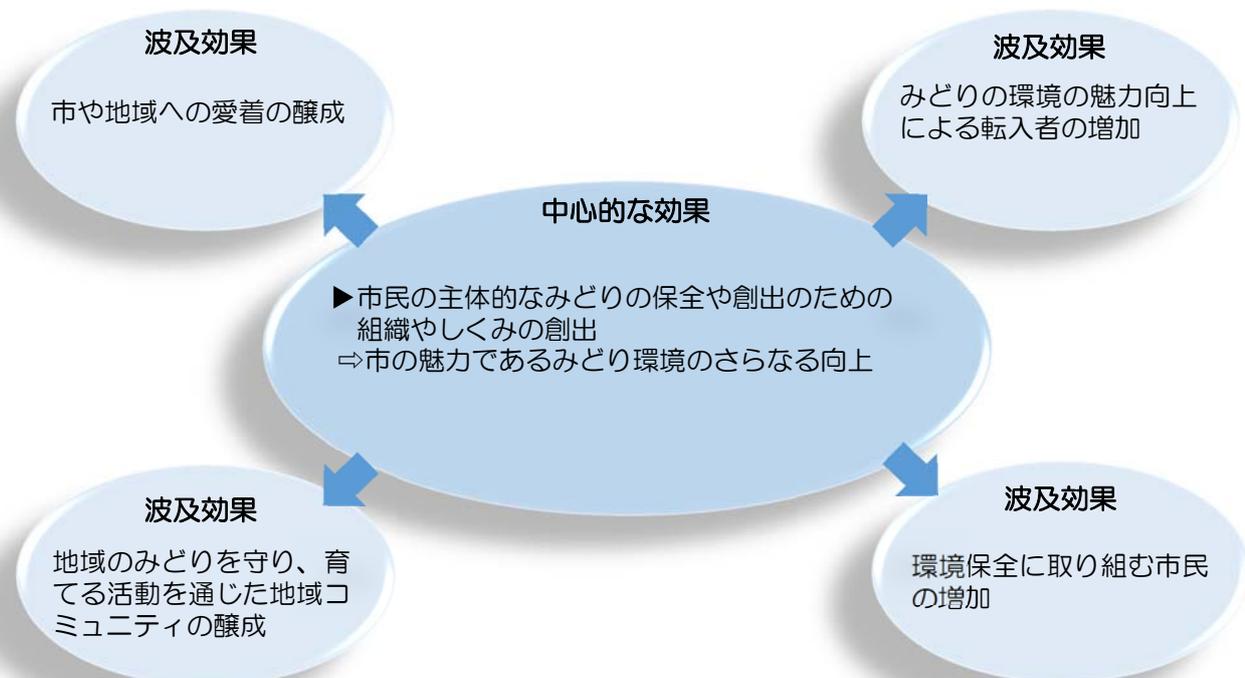
- みどりの環境を基礎とした清浄な空気や静けさといった白井市の良質な環境を、市民とともに守り育てるためのしくみづくりを進め、愛着と誇りを持てるまちづくりを進めます。

目標実現に向けた取組み

- ▶1 地域での環境保全や創出の取組みとしてのグランドワーク※の推進
- ▶2 白井の自然環境の豊かさを知り育てるための環境学習の推進

※グランド（生活の現場）に関するワーク（創造活動）といった意味で、市民、市民団体、事業者及び市が連携して地域の環境保全の取組みを行う活動

期待される効果



戦略2-3 緑がつながるまちづくり

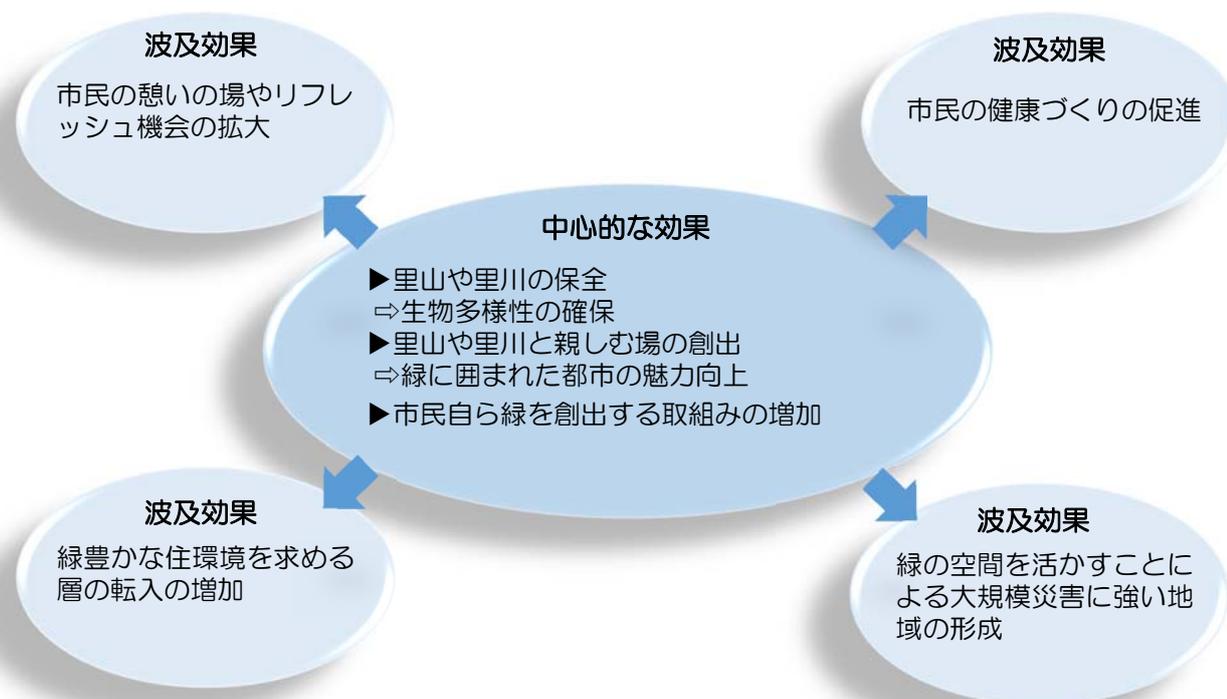
取組目標

- 白井市の豊かな暮らしを支える重要な要素である水と緑の環境の大切さを市民一人一人が認識し、その保全と継承に向けた取組みを展開します。
- 森や河川、田園など市街地の外側に広がる緑と市街地内の緑地や樹木などの緑がチェーンのようにつながり、緑が持つ暮らしを豊かにする多様な可能性を活かします。

目標実現に向けた取組み

- ▶1 自然とのふれあいや癒しの場としての里山・里川の保全と活用
- ▶2 市民による緑のネットワークづくりに対する支援

期待される効果



戦略3-1 都市拠点がにぎわうまちづくり

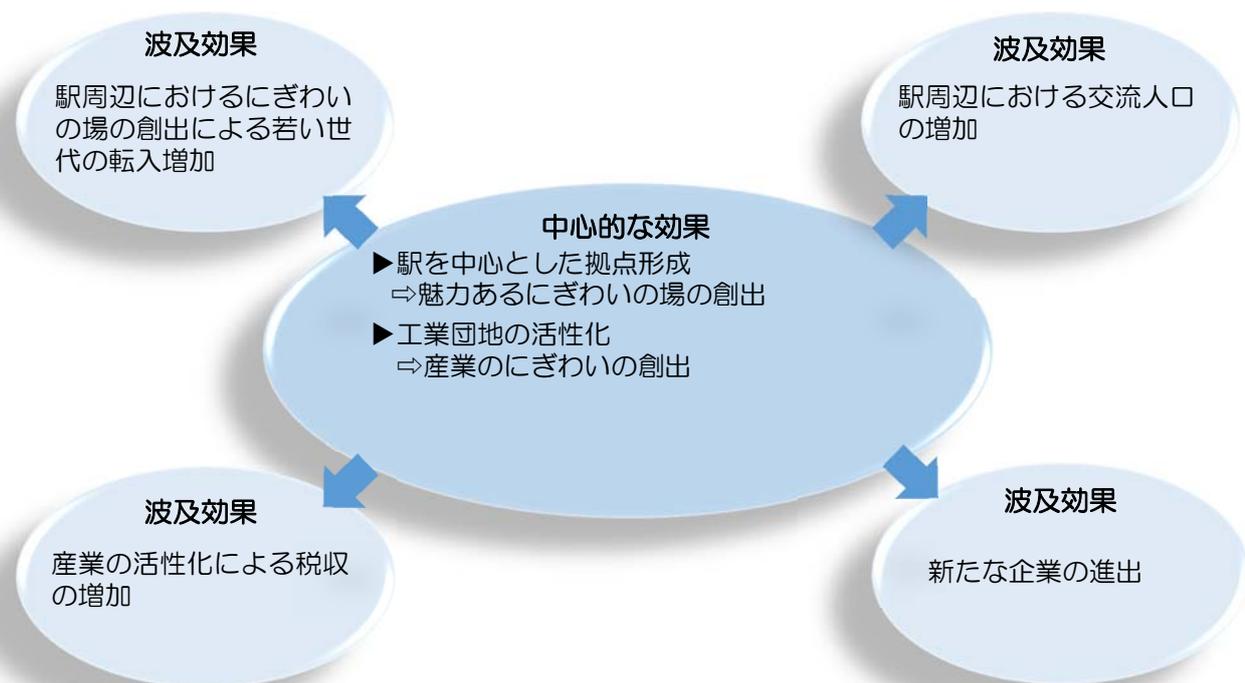
取組目標

- 市民生活の拠点である駅周辺など、それぞれの特性に合わせた整備を進め、まちのにぎわいを創出します。
- 産業の拠点としての工業団地の機能の充実を図り、産業のにぎわいを創出します。

目標実現に向けた取組み

- ▶ 1 市役所・白井駅周辺や西白井駅周辺など、地域特性に合わせた環境整備や商業機能等の誘導によるにぎわいの創出
- ▶ 2 工業団地への産業機能の集積に向けた環境整備

期待される効果



戦略3-2 地域拠点がにぎわうまちづくり

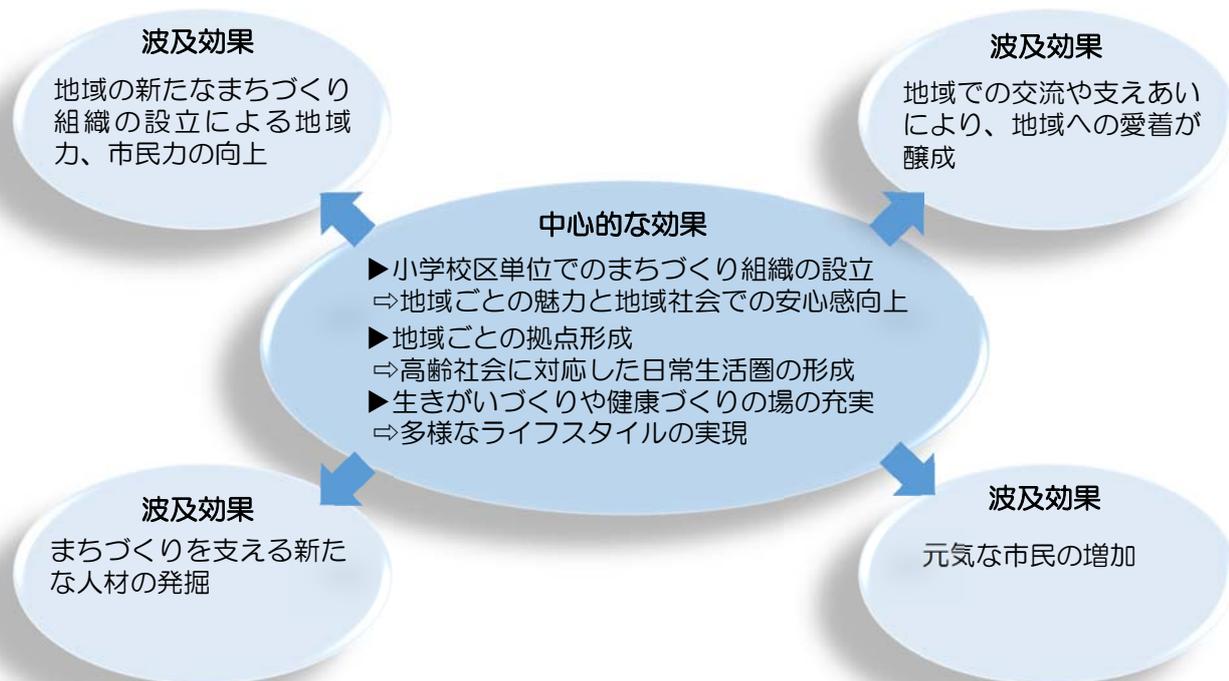
取組目標

- 小学校区を基本的な単位とした地域のまちづくりを進め、地域の特性に応じた魅力ある地域形成と地域住民の連携と協力による見守りや災害時などに相互に助け合うしくみづくりを進めます。
- 各地域に大小様々な交流の場やサービス提供の場などを創出・充実させ、地域の特性を活かしたまちの魅力づくりを進めます。

目標実現に向けた取組み

- ▶ 1 小学校区を基本的な単位とした「(仮称) 地域まちづくり協議会」の設立の支援
- ▶ 2 市内の様々な場における世代に関係なく利用できる居場所や交流の場づくり
- ▶ 3 地域の人々が地域の人々のために身近な生活サービスを提供する地域拠点の形成
- ▶ 4 地域の人や団体を活かした生きがいづくりや健康づくりの場の充実

期待される効果



戦略3-3 拠点がつながるまちづくり

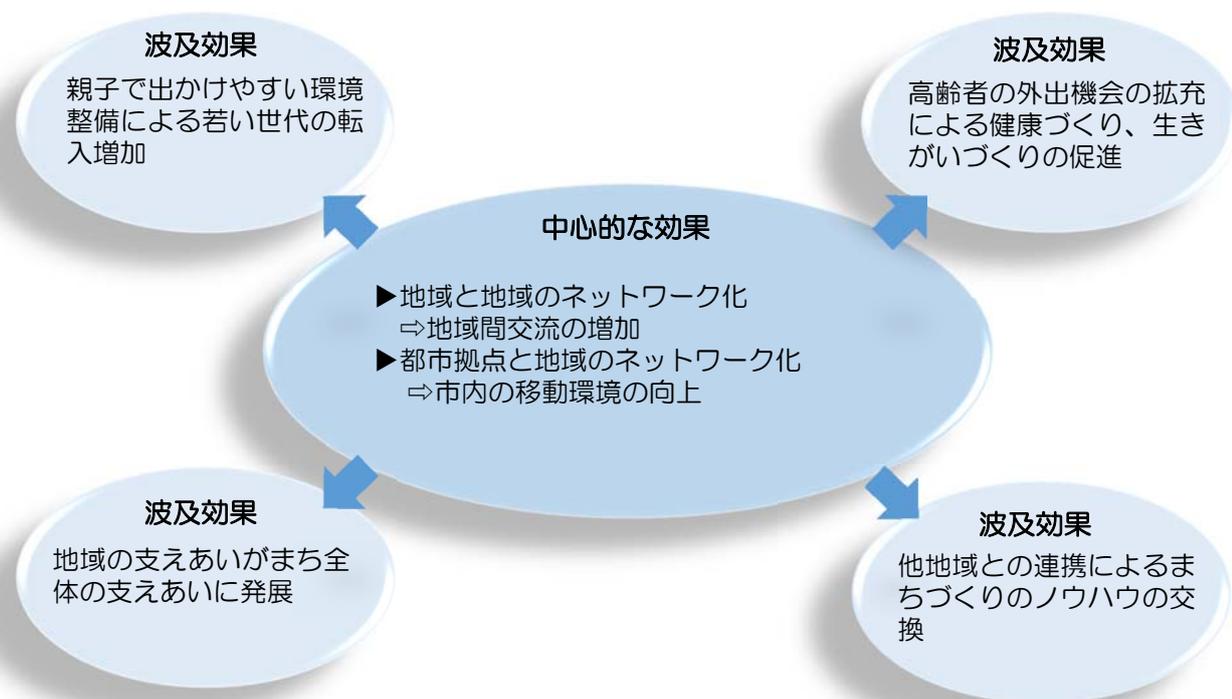
取組目標

- 地域と地域をネットワーク化し、他地域との連携や地域資源の相互活用を進めます。
- 都市拠点と各地域の拠点をネットワーク化し、まち全体の拠点間を移動しやすいまちづくりを進めます。

目標実現に向けた取組み

- ▶1 市民活動コーディネーターの発掘・育成と各地域への配置
- ▶2 都市拠点と各地域を結ぶ道路ネットワークの整備
- ▶3 利便性の高い交通ネットワークの確保

期待される効果



2 分野別計画

※この分野別計画では、行政の分野を「都市・交通」「環境・自然」「産業・雇用」「学習・教育」「健康・福祉」「地域・安心」の6分野に分類し、戦略プロジェクトと各分野の関係を記載していく予定です。

※以下は分野別計画の作成イメージ（例として学習・教育の分野）

学習・教育

戦略1 若い世代定住プロジェクト

教育の面での魅力で市外から転入者が増加することをめざし、白井市で実践されている児童・生徒一人ひとりと向き合うきめの細かい学校教育の一層の充実を図ります。また、そうした学校における教育内容についての情報発信を積極的に展開します。

若い世代の子育て等を支援するための人材を育成するためのプログラムづくりや、若い世代が魅力を感じる学習機会を拡充し、若い世代の定住を促進します。

また、市内での起業につながる学習プログラムづくりなどを進めることなどを通じ、市内で育った若い世代が市外へ転出することを抑制します。

戦略1-2 働く場を生み出すまちづくり

▶1-2-4 起業希望者に対する支援のしくみの構築や起業を意識した学習機会の提供

戦略1-3 子育てしたくなるまちづくり

▶1-3-4 児童・生徒の個性に応じた学力向上など生きる力を育む教育の推進

戦略2 みどり活用プロジェクト

白井市の水やみどりに対する愛着を育むため、これらが形成されてきた歴史やその貴重性などに関する学習機会の拡充を図ります。

また、子どもたちや市街地などに住む、日頃「農」との接点がない市民が、「農」に親しむ環境づくりを進める一方、「農」を素材とした文化・芸術活動の取組など、「農」の持つ新たな魅力の創出をめざします。

戦略2-1 「魅せる農」のまちづくり

▶2-1-4 誰もが農業体験できるプログラムの実施や農に親しめる環境づくり

戦略2-2 みどりが価値を生み出すまちづくり

▶2-2-2 白井の自然環境の豊かさを知り育むための環境学習の推進

戦略3 拠点創造プロジェクト

公民館をはじめとする地域の生涯学習の場を、地域における様々な活動の拠点として、また地域での活動を担う人材育成のための場として積極的に活用します。

生涯学習の成果を地域で活かせる場づくりを進めるとともに、市民大学校についても、卒業生が地域で様々な活動を担えるような実践的な学習内容の充実を図るなど、人材育成機関としての機能強化をめざします。

また、市内4地区で設立されている総合型地域スポーツクラブは、市民の健康づくりや生きがいに資するのみならず、地域における様々な交流の場ともなることから、多くの市民が利用できる環境づくりを進めます。

戦略3-2 地域で活躍できるまちづくり

▶3-2-4 地域の人や団体を活かした生きがいきづくりや健康づくりの場の充実
--